

第378回 難研セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 平成18年11月30日(木) 17:00～19:00

場 所： 難治疾患研究所[駿河台地区] 2階セミナー室

演 者： 三宅健介 先生

(東京大学医科学研究所 感染免疫部門感染遺伝学分野 教授)

演 題： 自然免疫における病原体認識機構

要 旨： 我々の免疫システムは、花粉など非病原性のものに比べて、病原体由来の成分に対し非常に高い応答性を示す。また核酸などのように、自己と非自己で区別が付きにくいものであっても、細胞質内など、場所によっては強い免疫応答が誘導される。このような応答性に大きく関わっている分子が自然免疫における病原体センサーである。代表的なセンサーである Toll-like receptor (TLR)は、細胞外の病原体を細胞表面で、あるいは細胞内に取り込み、エンドソーム・リソソームで認識する。多くの病原体は細胞質内にも侵入するが、細胞質内では non-TLR 病原体センサーが、菌体成分や二重鎖 RNA を認識する。病原体センサーの下流でさまざまなシグナル伝達分子が機能しており、個々の病原体に対応する防御反応が誘導されている。本セミナーにおいては、病原体センサーについて紹介するとともに、その認識を調節している補助分子群についての我々の知見も紹介する。

連絡先：難治疾患研究所分子代謝医学分野 小川佳宏 (内線:8108)

本セミナーは、生体情報薬理学分野 古川哲史 教授(内線:8069)との共催です。